

富山新港火力発電所 2号機における油漏洩に伴う発火について

2020年11月9日
北陸電力株式会社

本日（11月9日）19時5分、富山新港火力発電所2号機（定格出力：50万kW）は、点検後の出力50万kWで運転中、空気予熱器[※]付近から油漏洩に伴う発火を発見し、速やかに消防などへ通報するとともに、所員が消火器で初期消火を行いました。消防が、19時28分に鎮火を確認しました。

富山新港火力発電所2号機は速やかに負荷降下を行い、20時22分に発電を停止しました。

本事象による負傷者、設備損壊および外部への影響はありません。
また油漏洩、発火の原因などについては現在調査中です。

地元の皆さまをはじめ関係の方々には、ご心配・ご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。

なお、11月6日に運転を停止した富山新港火力発電所LNG1号機は、設備に異常がないことを確認し、本日19時1分に運転を再開しております。

以 上

※空気予熱器

ボイラーで燃料を燃焼させるのに必要な空気を、ボイラー燃焼ガスとの熱交換により加熱する装置

添付資料：富山新港火力発電所2号機 概略図

